

1. 概要

ストックホルム国際青年科学セミナー (Stockholm International Youth Science Seminar ; SIYSS) とは、ノーベル財団の協力でスウェーデン青年科学者連盟が主催しているセミナーで、将来の科学技術を担う世界の優秀な若者が一堂に会し、一週間の日程で交流するプログラムである。公益財団法人国際科学技術財団では、ノーベル賞授賞式の時期 (12月初旬) に、毎年2名の学生を SIYSS に派遣している。毎年各国から二十数名が選抜されるが、日本では 1987 年から同財団が参加者の選抜・派遣を行っており、各大学から推薦された学生の中から同財団が選抜を行う。選抜された学生は 12 月 10 日に開催されるノーベル賞授賞式への出席のほか、他国学生との交流やストックホルム近郊の大学や研究機関への訪問、ノーベル賞受賞者による講演等に参加する。

同財団から大学による推薦を求められているため、直接同財団へ応募することはできないので注意すること。大学による推薦に際し学内選考を行うため、本募集要項により本学学生の募集を行う。

詳細は同財団のウェブサイト参照すること。

国際科学技術財団ウェブサイト：<http://www.japanprize.jp/siyss.html>

国際科学技術財団応募要項：http://www.japanprize.jp/siyss_yoko.html

2. スケジュール

派遣日程：2013年12月4日出発、12月12日帰国

その他は国際科学技術財団の応募要項を参照のこと。

※東京大学での募集期間は国際科学技術財団による応募要項に記載の募集期間と異なるため、注意すること。(所属部局及び東京大学での選考が行われるため)

3. 推薦人数

本学全体で、各対象分野1名(計2名)まで

4. 参加資格

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 申請時及び参加期間を通じ、本学学部又は大学院の正規課程に在学する者。(休学者は申請不可)
- (2) 国際科学技術財団の応募要項 (http://www.japanprize.jp/siyss_yoko.html) に記載の「応募の条件」を満たす者。
- (3) 申請の際には、授業・試験日程を各自事前に確認の上、履修において不利益とならないよう注意すること。
- (4) セミナー参加時の所属部局の担当部署 (※HP：<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html> を参照) に相談し、申請前に海外渡航に関する留意点等の説明を充分受け、申請書に署名をもらい、納得した上で申請すること。
- (5) セミナー参加時における本学の指導教員・担当教員等の教員に申請する旨承認を得て、申請書に署名をもらうこと。

5. 費用

主な費用は国際科学技術財団が負担する。詳細は同財団の応募要項を確認すること。

6. 応募締切

7月下旬～8月中旬頃。所属部局により異なるので、各自現在所属する部局の担当部署に確認すること。

※東京大学での募集期間は国際科学技術財団による応募要項に記載の募集期間と異なるため、注意すること。(所属部局及び東京大学での選考が行われるため)

7. 応募方法

「8. 応募書類」欄に記載の書類一式 (I. 東京大学指定の書類、及びII. 国際科学技術財団指定の書類)

を、所属する部局の応募締切日までに、所属する部局の担当部署へ提出すること。

8. 応募書類

<紙媒体で提出するもの>

I. 東京大学指定の書類

(様式ダウンロード先 http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/un_SIYSS.html)

- ① 学内申請書 (所定様式・和文)
必ず署名を入手すること。
- ② 成績評価係数計算表 (所定様式)
- ③ 大学入学後全学期の成績証明書 (英文又は和文) の写し

II. 国際科学技術財団指定の書類

※学内選考で使用するとともに、学内選考を通過した場合、財団にそのまま送付し、財団での選考に使用されるため、入念に作成すること。

(様式ダウンロード先: http://www.japanprize.jp/siyss_file_download.html)

- ④ 派遣候補者推薦書
 - ・「推薦者」「担当部署」の欄は学内選考後に記入するため、記入例を削除し、空欄とすること。
 - ・「担当教官」欄は記入すること。
 - ・連絡先の学校住所には本学での連絡先を記入すること。(所属研究室、所属部局の担当部署等)
- ⑤ 小論文
- ⑥ 現在行っている研究内容
- ⑦ TOEIC スコアシート(700 点以上) の写し
TOEFL でも可 (540 点以上) ※現在行われている TOEFL iBT では 76 点に相当
- ⑧ 担当教官による推薦状

<電子ファイルで提出するもの>

- ①学内申請書 (Excel ファイル・署名前のもの)
- ②成績評価係数計算表 (Excel ファイル)
- ④派遣候補者推薦書 (Word ファイル)
電子ファイル送付先: 所属部局担当部署
メールタイトル: 2013 SIYSS 参加申請 (所属・氏名)
データファイル名: 「(所属・氏名) 2013 SIYSS 申請書」
「(所属・氏名) 2013 SIYSS 成績評価係数計算表」

9. 選考

- (1) 各部局から各対象分野につき 1 名 (計 2 名) が東京大学国際本部長へ推薦された後、学内選考 (書類選考) を行い、大学として各対象分野 1 名 (計 2 名) を国際科学技術財団に推薦する。学内選考の結果は 9 月上旬頃に所属部局の担当部署へ通知する。
- (2) 国際科学技術財団の応募要項に記載の方法で、同財団での選考が行われる。
- (3) 財団での選考の結果は学生本人に郵便で通知されるため、合否が判明した場合、所属部局の担当部署を通じて本部国際交流課に申し出ること。

10. 選考を通過した場合の留意事項

- (1) 渡航手続き等は、国際科学技術財団等の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用は本人の負担となる。
- (2) 所属部局の担当部署に確認し、必要な場合は海外渡航の手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属部局毎に異なる。)
- (3) 一般的な注意事項や危機管理等については、本学ホームページ「東京大学海外留学・国際交流情報」を参照すること。(<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/index.html>) また、参加期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (4) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間渡航することにより関係者に迷惑

をかけないよう努めること。

(5) 申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属学部で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。必要事項の連絡の際に必要となる。

(6) 本学の学生として派遣されることを自覚し、派遣先国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

(7) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に報告書類(所定様式)を本部国際交流課へ提出すること。なお、提出された報告書類は、学内外の広報や学生の参考資料等に活用する可能性があるため、個人情報の観点等を十分に鑑み、出版物・ホームページ等に掲載可能な内容とすること。

11. その他

申請にあたって所属部局及び本部国際交流課が知り得た氏名・連絡先その他の個人情報については、本プログラムに必要な業務のほか、本部国際交流課の業務への協力(留学プログラムの広報や学生へのアドバイス等)を依頼する際に利用する場合があるので、了承の上、申請すること。

12. 問い合わせ先

(1) 申請手続きや海外渡航にあたっての留意点に関すること：所属部局の担当部署

(2) セミナーの内容に関すること：国際科学技術財団 <http://www.japanprize.jp/siyss.html>

(3) その他の事項：

本部国際交流課 学生・研究者交流チーム intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

※昨年の参加学生の報告書をウェブサイトで公開しています。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/experience.html>